

質問

国道17号（浅貝～湯沢間） 改修整備の国への陳情を



師田 保

答 弁 精力的に要望活動を行いたい

問 三国トンネルから湯沢間には老朽化した幅員狭小トンネルや急勾配、急カーブが連続し、トンネル内では大型車両の通行に支障をきたし、冬期間の通行は危険性が高まり改修整備が急がれている。

答 県選出の中原参議院議員が国土交通大臣政務官に就任して、道路整備担当となつている。このチャンスをとらえて、中原政務官に直接陳情して、来年以降の改修予算の確保に動き出す必要があると思うが。

答 防災面や関東と越後を結ぶ路線としての役割は重要であり、三国トンネルを含め6本の幅員狭小トンネルや事前通行規制区間、多くの急勾配区

間の改修は急務である。必要な道路整備を推進するための予算確保と地域の安全、安心を支える

災害に強い道路整備の推進に向けた要望活動を積極的にしていきたい。

質 問 三国小学校施設の地域での活用を優先に

答 町内会の活用計画と国際教育研究会の提案の共存共栄を検討中である

問 三国小学校施設をアメリカの大学に利用させるという話があるが、三国地区の100万人を超えるスキー客、10万人を超えるフジロック来訪者の緊急避難施設として活用することと夏季合宿施設として三国地域で活用し、地域経済の活性化を優先して考えるべきではないか。

答 地域で活用したいという要望はなかったのですが、アメリカの大学の研修施設、将来的にはアメリカの大学に留学可能な専門学校とするNPO法人国際教育研究会の提案を受け入れる方針であった。地域から三国小学校活用計画の提出があったので、共存共栄に向けて検討している。

質 問 観光産業の基盤整備における苗場、かぐらエリアの展開は

答 韓国平昌（ピョンチャン）冬季五輪の練習場所として三国三俣エリアを世界に売り出す

問 観光振興計画では各エリアの特徴を生かし、

地域の人の生活や生業を観光資源として有効活



大型車両のすれ違いが大変な二居トンネル

用を図るとしているが、今後の「苗場、かぐらエリア」の展開は。

答 浅貝地区はフジロックの森とボードウォークの整備、二居地区は宿場の湯、山鳥原公園の運営

管理、三俣地区は三俣振興対策事業の推進と街道の湯、道の駅の運営支援を行う。

苗場、かぐらのスキー場を平昌五輪の練習場として世界に売り出す。